

★ オープンスクールより ★

振り返りシリーズ第3弾は、10月7日のオープンスクールです。特に、高校2年生が中心となっておこなったコース紹介の様子をお届けします。



高3はESコースを知り尽くしています



高1は半年前まで受験生という立場で話しました

写真のように、真ん中に画面を用意し、向かって左手に高校2年生が座っています。右手には前列に高校3年生代表4名、後列に高校1年生代表4名が座りました。中央には高校2年生の早川 千世さん、江熊 みなみさんが司会として座っています。後ろの画面には、江熊さんの手元のiPadの画面がそのまま表示されており、2年生の質問に対する3年生や1年生の回答を、江熊さんが要約して書き留めたものが映るようになっていました。

☆ 思いを伝えること ☆

今回の高校ESコースの紹介は、全体の構成をすべて高校2年生に任せました。まず高校2年生が平安女学院を受験する中学3年生が気になるであろうことを想像し、高校3年生、高校1年生への質問としてまとめておき、当日2年生が質問し、1・3年生が回答することで、ESコースの内容を伝える、という形になりました。1・3年生も、事前に聞いた質問へ、どのように回答すると受験生の役に立つか、ESコースの良さが伝わるかと

いうことを真剣に考えました。

当日の発表は分かりやすくまとまっており、ESコースで学んでよかった、入学してよかったという気持ちが伝わる発表になりました。3学年の担任や、担当の先生方も聞いていて嬉しくなる、立派な内容でした。



高3から中3へ、同じ受験生としてアドバイス

中心となって動いた高校2年生は、頑張っ準備して実行できたという達成感があり、先輩や後輩と一緒にできて楽しかったという感想だったそうです。高校2年生の担任である山下先生に何うと、「普段の授業などでは聞けないような、ああ、そんなふう感じていたんだな、ということがたくさんありました」とおっしゃっていました。確かに、教員の目線では気付いてなかったことを多く発見する発表でした。



練習の様子：質問を考えてくれた2年生



iPadをもつ江熊さん、熱心にメモをとる早川さん